

## 交換留学(派遣) 帰国報告書

留学先大学:	グラーツ大学	
留学先での所属学部・研究科:	Master of musicology, Bachelor of sociology, Bachelor of english studies	
留学先での在籍身分:	the degree student	
留学期間:	2018年9月～2019年7月	
神戸大学での所属学部/研究科:	人間発達環境学研究科	
学年(出発時):	2年	
帰国日:	2019/7/21	
本報告書記入日:	2019/7/24	

## 1. 留学先大学について

1-1	学年開始月日:	月 日
	学年終了月日:	月 日
1-1	学期:	① 10月 1日～ 2月 1日
		② 3月 4日～ 6月 28日
		③ 月 日～ 月 日
		④ 月 日～ 月 日
1-2	留学先大学の特長、人気のある分野等について記入ください。	特に留学生は専門の授業とは別に、English studiesの分野で開講される授業をとって、英語のスキルを高めようとする人が多い。
1-3	留学先大学のサポートについて記入ください。	
	語学面でのサポート:	なし
	勉学面でのサポート:	なし
	精神面でのサポート:	なし
	住居・生活面でのサポート:	なし
1-4	課外活動のサポート:	なし
1-4	近況報告書提出後に、履修した授業について記入してください。	<a href="#">クリックで別シートへ</a>
1-5	神戸大学の所属学部・研究科にて「単位認定」を申請する予定ですか?	はい

## 2. 住居について

2-1	住居についてアドバイスを含ま自由に記入してください。(気を付けること等)	生活を始める際にフラットメイトと、共有スペースや共有物をどのように使っていくか話し合うこと。
-----	--------------------------------------	--

## 3. 生活について

3-1	インターネット接続環境について	
	住居内のインターネット接続可否、プロバイダー、料金等について記入してください。大学内のインターネット接続可否(wi-fi)等について記入してください。	Wi-fiあり。寮費を毎月期日までに支払えば続けて使うことができる。 eduroamにつなげていた。
3-2	医療について	
	留学中に病院に通いましたか。医療費等について記入してください。また、健康管理や衛生面について特に注意すべき点について教えてください。	通っていない。エアコンがないので蒸し暑さに注意。
3-3	銀行口座等について	
	留学先でお金を引き出す為にどんな準備・手続きをしましたか。(現地口座開設、キャッシュパスポート等)	海外でも使えるキャッシュカードを持って行った。

## 4. 経費について(奨学金、留学費用)

4-1	奨学金を受給していた場合、奨学金名(財団名等):	独立行政法人日本学生支援機構
	支給額(円/月):	8万円
	その他(渡航費等の支給):	なし
4-2	留学期間を通して必要だった費用を記入してください。(概算で結構ですので、円価で記入してください。)	
	航空運賃:	23万円
	住居費:	(月額) 3万5千円 × (留学月数) 11ヵ月 = 38万 円
	食費:	(月額) 3万8千円 × (留学月数) 11ヵ月 = 42万 円
	保険料:	付帯海学8万3千円 + 現地の健康保険8万円 = 16万3千
	その他:	(敷金)7万6千 + (書類)3万5千 + (在留許可)2万4千 + (独語講座)2万7千 = 16万2千
	合計(留学期間全体の費用):	140万円

5. 異文化体験について	
5-1	<p>留学先の文化・社会(習慣の違い等)について記入してください。</p> <p>大学外の現地の人々と、どの程度コンタクトを持ちましたか。</p> <p>課外活動(ボランティア、インターンシップ、アルバイト等)はしましたか。</p> <p>留学先の「町」についてコメントがあれば、記入してください。(安全性、外国人への態度等)</p>
	<p>27歳以下は芸術の催し物をかなり安い価格で楽しむことができる。お酒が好きな人が多い。喫煙場所があまり制限されていない。</p> <p>週に1回と長期休暇</p> <p>していない。</p> <p>極めて安全。英語ができる人も多いため困ったことがあっても気楽に尋ねることができる。</p>

6. 就職活動について	
6-1	<p>留学期間中に就職活動をしましたか。就職活動をした場合、どんなことをしたか教えてください。</p>
	<p>していない。</p>

7. アドバイス、振り返り	
7-1	<p>現地で参考となった留学先国の情報(出版物、ホームページ)を記入してください。</p>
	<p>グラーツ大学から提供される紹介パンフレット</p>
7-2	<p>現地では手に入らない物、日本から持参すると良いと思われるものがあれば、記入してください。</p>
	<p>ノートパソコン、日本で飲み慣れている薬</p>
7-3	<p>留学することによって得られたことについて記入してください。(語学力の向上、キャリアパスの明確化、異文化理解等)</p> <p>語学力について、差し支えの無い範囲で、留学前と帰国後の客観的な指標を教えてください。</p>
	<p>英語を扱うためには無くなった。交換留学であるからこそ貴重な学会や講演会を見学することができて、自身のキャリアを検討する良い機会となった。</p> <p>留学前:( IELTS ) 6.0 点 → 帰国後:( 受けていない ) 点</p>
7-4	<p>振り返ってみて、何が最大のトラブルでしたか。</p>
	<p>フラットメイトとの協力体制</p>
7-5	<p>留学前、留学期間を通じて、神戸大学のあなたへのサポートは適切でしたか。神戸大学への要望があれば記入してください。</p>
	<p>渡航準備から現地での手続きまでの流れを大学側も把握してほしい。初めての長期滞在であったこともありかなり不安だった。また特に準備費用が予想以上の金額だった。費用の詳細をあらかじめ知っていれば、より早く家族と相談できたはずである。</p>
7-6	<p>本留学プログラムを後輩に薦めますか。薦める場合・薦めない場合ともに、理由を記入してください。</p>
	<p>薦める。現地でしか学ぶことのできない授業内容もあり、神戸大学とのつながりがあるので外国で安心して生活できる。</p>
7-7	<p>留学全体を振り返って、以下の質問に答えください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・留学先大学の授業の「質」(内容、レベル等)に満足しましたか</li> <li>・留学先大学の学生サービスに満足しましたか</li> <li>・留学先の住み心地(安全性等)に満足しましたか</li> <li>・住居の「質」(広さ、料金等)に満足しましたか</li> <li>・全体として留学に係る費用は安かったと思い、満足しましたか</li> <li>・神戸大学の留学に係るサポートに満足しましたか</li> <li>・留学全体の総合的な評価</li> </ul>
	<p>(5段階評価、5が最も高い評価、1が最も低い評価)</p> <p>5</p> <p>5</p> <p>5</p> <p>4</p> <p>1</p> <p>2</p> <p>4</p>

8. その他感想、後輩へのメッセージ等を自由に記載してください。(800字～)	
<p>大学では夏学期の授業として、前学期よりも難しいものを選択した。特に言語の面で、1対1で先生からアドバイスをいただける時間もあり、勉強するべき部分を明確にすることができた。グループによるプレゼンが課題となっている授業を一度選択することを薦める。周りの学生のスキルの高さを知るとても良い機会となるし、資料を読んで話し合いに加わって、まとめてプレゼンの形にする経験はとても良い勉強になる。</p> <p>語学の勉強に関しては、できる限り多く他の留学生と会う機会を設けて、相手の話す英語をよく聞いて、話してみることを心がけた。半年以上経ってやっと相手の話す英語を自分の英語に取り入れてみるようになった。ドイツ語で現地の学生と話すことは難しかったため、ドイツ語でゆっくり会話できる学生と話してみることが多かった。一日誰とも会わなかっただけで外国語を話すことに抵抗が出てしまうので、できる限り毎日誰かと話すことはとても大切だと思う。</p> <p>グラーツは音楽がよく聞こえる街で、学生はとても安い価格でコンサートやオペラを楽しむことができる。私の住んだ寮には、スタジオのあるバーがあり、ジャズコンサートやプロの演奏家によるライブが頻繁に行われていた。さらに6月中旬から1ヶ月間は、シュティリアルテ音楽祭という芸術祭の期間で、毎日グラーツのどこかで多様な音楽のコンサートが多様な場所で開かれる。自分の住まいと大学と街の中心地がとても近い距離にあるので、時間ができれば芸術の催し物にすぐアクセスすることができる。</p> <p>私にとってこの留学は初めての海外長期滞在で、不安に思うことがたくさんあった。しかし、人と出会う機会に積極的に参加することが、より楽しいこと面白いことに出会うきっかけをつかむことになり、困った時に助けを求められる安心を得ることになる。必ず何か良いことがあると思って、遠慮せず、やめとこうと思わず、何でも試してみることはとても大切であると滞在中身をもって感じた。</p>	

## 1-4 近況報告書提出後に、履修した授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数／週	留学先での単位数	授業での使用言語	履修している学生数	予習、復習、テスト等の成績評価についてアドバイスも含めて教えてください
1	Deutsch Mittelstufe Niveau 1, Phase B1/1.	Kuttner K.	15時間	4	ドイツ語	約20名	授業についていけるほどのリスニング力が必要。ドイツ語を書く量も増える。
2	Deutsch Mittelstufe Niveau B1/2.	Turba H.	90分	2	ドイツ語	約20名	リスニング力の高さが求められる。試験はテーマに沿った自由記述だった。
3	Sociology and social history of the arts	Safonova M.	不定期	2	英語	約30名	1ヶ月週に数回集中的に開講された。毎回グループ毎にプレゼンを行う。
4	Pronunciation	Pfandl-Buchegger I.	90分	2	英語	約30名	オーディオファイルを使って自主的に練習をすること。Tutorialを受けること。
5	Professional Writing Skills	Schweighofer M.	90分	2	英語	約20名	英語の単語や文法、フレーズ等総合的な多くの知識が求められる。難しい。
6	Current Musicology	Parncutt R.	不定期	2	英語	不特定	12のプレゼンを聞いて、それぞれに対してプロトコルを作成する。計画性が必要。

## ・授業(カリキュラム等)について クラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

--